

平成27年度 予算

平成27年度の当初予算が、第1回市議会定例会で決まりました。「第2次天草市総合計画」に沿って、限られた財源の中で重点的・効率的な配分に努め、予算を編成しています。
今号では、平成27年度の一般会計予算のほか、特別会計・企業会計の予算を紹介します（金額と構成比、増減率は表示単位未満を四捨五入しています）。

一般会計予算は 527.7億円

平成26年度と比べて
約18億円
(3.6%)
増えました。
※平成26年6月補正後の予算額と比較。

一般会計予算の概要

一般会計の予算額は527.7億円で、前年度と比べると約18億円(3.6%)の増加になりました。これは、昨年度からの継続事業である天草エアライン(株)が行う航空機更新への支援や、防災行政無線の整備着手、汚泥再生処理センターの建設など、大型事業への対応によるものです。市が抱える課題に積極的に取り組むにつれ、将来の財政状況を見据えて財政健全化を確実に推進することを念頭に置いた予算となっています。

平成27年度の自主財源は、108.3億円で、歳入総額に占める割合は20.6%(前年度21.9%)となっています。一方、依存財源は419.4億円で、歳入総額に占める割合は79.4%(同78.1%)となっています。歳入は、使われるお金の目的によって、民生費や総務費など12項目に分けられます。今年度の予算でもっとも大きな割合を占めているのは民生費(31.0%)です。民生費とは、お年寄りや障がいのある人に対する福祉の充実、子育て環境の充実などに使われる費用です。これに続いて、総務費、公債費、衛生費、教育費、消防費の順になっています。

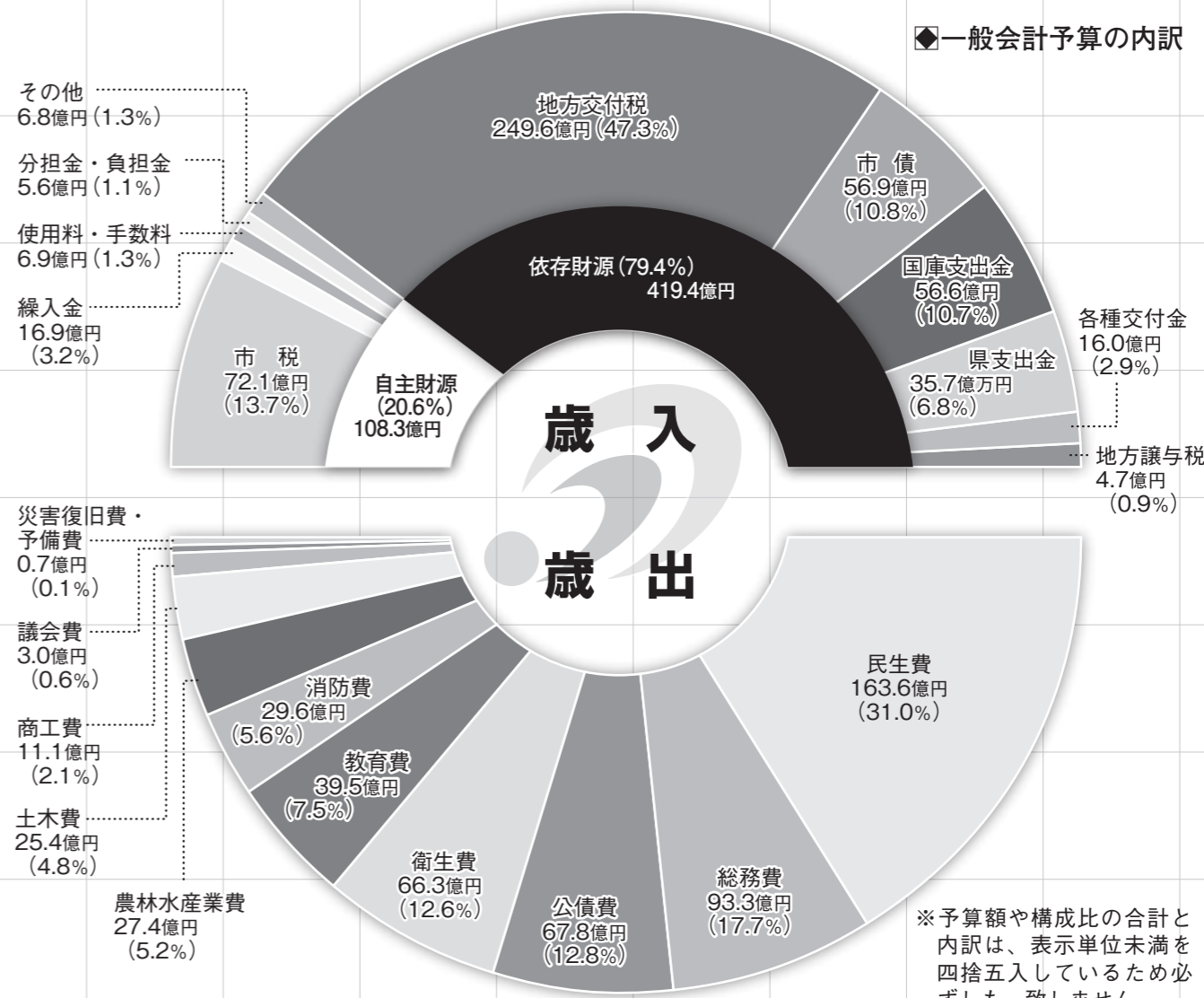
◆歳入

歳入は、市税や使用料・手数料など、市が自主的に収入できる「自主財源」と、地方交付税や国・県の支出金、国や金融機関などから借り入れる市債などの「依存財源」に分けられます。

◆歳出

歳出は、使われるお金の目的によって、民生費や総務費など12項目に分けられます。今年度の予算でもっとも大きな割合を占めているのは民生費(31.0%)です。民生費とは、お年寄りや障がいのある人に対する福祉の充実、子育て環境の充実などに使われる費用です。これに続いて、総務費、公債費、衛生費、教育費、消防費の順になっています。

◆一般会計予算の内訳



※予算額や構成比の合計と内訳は、表示単位未満を四捨五入しているため必ずしも一致しません。

特別会計・企業会計の予算

◆特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合に一般会計の歳入歳出と区分して会計処理をするために設置するものです。

本市では、国民健康保険や介護保険、後期高齢者医療、公共下水道事業などの特別会計を設けています。主な特別会計の予算額は右表のとおりです。

◆主な特別会計の予算額

| 区分 | 予算額 | 増減率 |
|---------------|---------|--------|
| 国民健康保険 | 155.0億円 | 6.2% |
| 介護保険 | 106.9億円 | ▲1.3% |
| 後期高齢者医療 | 11.9億円 | ▲0.2% |
| 公共下水道事業 | 12.2億円 | ▲2.5% |
| 特定環境保全公共下水道事業 | 3.5億円 | ▲22.1% |
| 農業集落排水事業 | 0.6億円 | 7.0% |
| 漁業集落排水事業 | 6.0億円 | 34.2% |
| 浄化槽市町村整備推進事業 | 1.5億円 | 0.1% |
| 簡易水道事業 | 14.2億円 | 6.6% |
| 国民健康保険診療施設 | 1.9億円 | ▲2.2% |
| 歯科診療所 | 0.5億円 | 11.0% |
| 畜場事業 | 1.0億円 | ▲17.7% |

◆企業会計の予算額

| 区分 | 予算額 | 増減率 |
|------|-------|--------------|
| 病院事業 | 収益的収入 | 39.9億円 ▲1.1% |
| | 収益的支出 | 39.9億円 ▲9.5% |
| | 資本的収入 | 1.9億円 0.6% |
| | 資本的支出 | 5.0億円 13.2% |
| 水道事業 | 収益的収入 | 14.3億円 ▲1.4% |
| | 収益的支出 | 14.6億円 ▲2.1% |
| | 資本的収入 | 0.4億円 7.5% |
| | 資本的支出 | 7.5億円 ▲4.5% |

※▲=マイナス

◆企業会計

企業会計は、商店や会社などの民間企業と同じように、その事業で得た収入をもって支出をする独立採算制の会計で、地方公営企業法により設置しているものです。本市では、病院事業と水道事業を企業会計で処理しています。予算額は右表のとおりです。